

結婚式

松口月城

瑞氣堂に満ちて 銀燭明かなり

嘉辰結びは 固し鴛鴦の盟

自今琴瑟長えに 相和し

子子孫孫家愈栄えん

【作者】松口月城(一八八七〜一九八一年)(明治二十年〜昭和五十六年)。名は栄太。月城と号す。福岡市に生まれる。幼少より秀才の誉れ高く、熊本医学専門学校を卒業、十八歳にして卒業して医者となり、世人を驚かせた。当時、久留米出身で熊本に住んでいた詩壇の重鎮・宮崎来城に漢詩を学び、以来この道を極め福岡に「月城吟社」を経営し、現代詩壇の雄として活躍、書画にも秀でていた。昭和五十六年九十五歳で没。「月城詩集」がある。我が「岳精会会詩」の作詩者でもある。